

F I 7 0 2

NET IMPRESS
フラッシュマイコンプログラマ用
コントロールモジュール

代表マイコン：TC275

インストラクションマニュアル

株式会社DTSインサイト

改訂履歴

| 版 | 発行日付 | 変更内容 |
|-----|------------|----------|
| 第1版 | 2015.01.16 | 新規作成 |
| 第2版 | 2015.02.06 | バージョンアップ |

おことわり

- 1) 本書の内容の全部または一部を、無断転載することは禁止されています。
- 2) 本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 3) 本書の内容について、ご不審な点やお気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 4) 本製品を運用した結果の内容の影響につきましては、3)に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© DTS INSIGHT CORPORATION. All Rights Reserved.

Printed in Japan

目次

| | |
|---|----|
| 1. 概要 | 3 |
| 2. 仕様 | 5 |
| 2-1. 対象マイコンと仕様 | 5 |
| 2-2. 機種固有のパラメータ設定 | 7 |
| 2-2-1. 【 Parameter Table 1 ウィンドウの設定 】 | 7 |
| 2-2-2. 【 Basic Operation ウィンドウの設定 】 | 12 |
| 2-2-3. 【 Parameter Table 2 ウィンドウの設定 】 | 16 |
| 2-3. デバイスファンクションと実行機能 | 17 |
| 3. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ | 18 |
| 3-1. 信号一覧表 | 18 |
| 3-2. 代表的な接続例 | 19 |
| 3-3. 制御信号波形 | 21 |
| 3-4. プローブ | 23 |
| 4. 代表マイコン以外への適用 | 24 |
| 4-1. パラメータ変更 (NET IMPRESS のキーボードを使って) | 24 |
| 4-2. 対象マイコンの変更 (別売りのリモートコントローラを使って) | 24 |
| 4-3. リモートコントローラによるパラメータの変更方法 | 25 |
| 5. 定義体交換機能 | 26 |
| 5-1. 定義体交換機能概要 | 26 |
| 5-2. 定義体交換方法 | 27 |
| 6. FI702 固有のエラーメッセージ | 28 |
| 6-1. 概要 | 28 |
| 6-2. エラーメッセージ一覧 | 28 |
| 7. ご利用上の注意 | 29 |

1. 概要

FI702は、NET IMPRESSアドバンスオンボードフラッシュマイコンプログラマ用のコントロールモジュールです。

FI702は、**Infineon社製：TC275**を代表機種とする、これと同一のアルゴリズム・プロトコルで書き込み可能なフラッシュメモリ内蔵マイコンを対象とします。

本製品は書き込み制御情報を内蔵したコンパクトフラッシュカードで構成されます。

コントロールモジュール（コンパクトフラッシュカード）の書き込み制御情報エリア以外は、DOSファイル領域として、お客様がホストコンピュータ上で作成したオブジェクトファイルの一時的保管領域等としてご利用頂けます。

コントロールモジュールは、/P128、/D128、/D512のオプション指定となります。

Dタイプは、コントロールモジュールフォルダ切り換えが可能です。

本製品は、**AF430/JTAG**でご利用頂けます。

< ご注意 >

コントロールモジュールでは、当該代表マイコンと同一のアルゴリズム・プロトコルをもつ、他のマイコンの書き込みが可能です。

パラメータの書き換えについては、第4章をご参照ください。

必ずお客様がお使いになれるフラッシュメモリ内蔵マイコン用のマイコンパックと組み合わせてご使用ください。

書き込み方式の異なるマイコンに対するご利用は、ターゲットマイコン及びそれを含むユーザシステムを破壊する恐れがあります。

【 確認事項 】

- a. コントロールモジュールのマニュアルに表記されている代表マイコン型名と同一の書き込み方法か否か？
- b. 特に書き込み制御アルゴリズムが代表機種と一致しているのか？
- c. 書き込み制御のための通信プロトコルが代表マイコンと同一か？
- d. RAMローディング方式の書き込み制御プログラムを採用しているマイコンでは、当該するマイコン用の書き込み制御プログラムが用意されているか？
また、そのプログラムの仕様は、本器の代表マイコン用の書き込み制御プログラムと同一の書き込み仕様となっているか？

ご不明な点は、弊社または代理店へお問い合わせください。

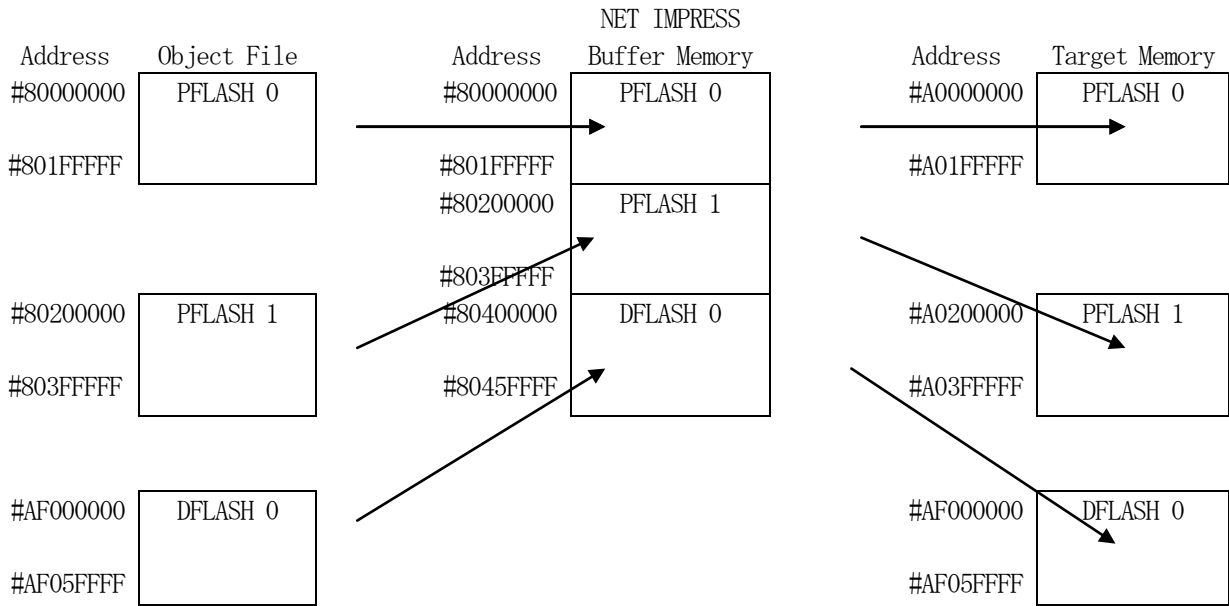
2. 仕様

2-1. 対象マイコンと仕様

特に記載なき項目は、NET IMPRESS 標準に準じます。

| | |
|-----------------------------|---|
| 型名 | FI702 |
| 代表マイコン | TC275 |
| フラッシュメモリ容量 PFLASH | 4Mbyte |
| DFLASH | 384KByte |
| フラッシュメモリアドレス PFLASH | #80000000 ~ #803FFFFFF *1 |
| DFLASH | #AF000000 ~ #AF05FFFF *1 |
| 書き込み制御時のVpp | 印加しない |
| デフォルト値 | — |
| Vpp印加時のターゲット 電圧最低値 | — |
| オブジェクトファイル フォーマット | インテルHEX モトローラS バイナリ |
| デフォルト | モトローラS |
| ターゲットインタフェース | JTAGインタフェース 1. 25M/2. 5M/3. 3M/5M/10M bps □MSBファースト ■LSBファースト |
| デフォルト | 10M bps |
| ターゲット—ライター間の 転送データフォーマット | バイナリ |
| マイコンイレーズ状態 | #00 |
| 書き込み時のターゲット マイコン動作周波数 | 4MHz ~ 40MHz |
| 書き込み時のターゲット インタフェース電圧 | 3.0 ~ 3.6 V |

* 1 : NET IMPRESS 上のバッファメモリには以下のように仮想的に配置されます。



NET IMPRESS のバッファメモリの見え方は以下表のようになります。

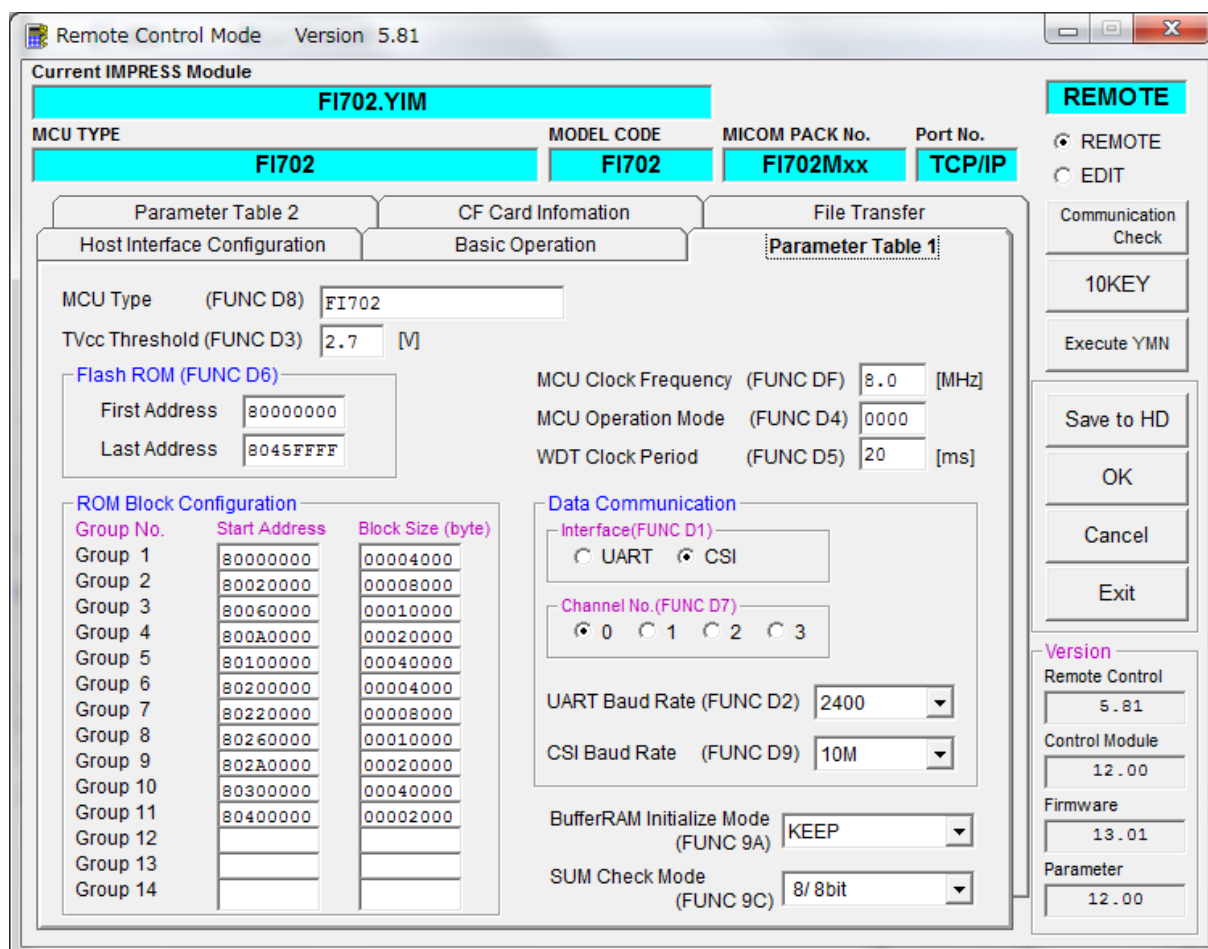
| メモリ名称 | 本来の先頭アドレス | NET IMPRESS の バッファメモリ先頭アドレス |
|---------|-----------|--------------------------------|
| PFLASH0 | #A0000000 | #80000000 |
| PFLASH1 | #A0200000 | #80200000 |
| DFLASH0 | #AF000000 | #80400000 |

2-2. 機種固有のパラメータ設定

AZ490（リモートコントローラ：Windows上で動作）を利用して次の初期設定を行います。リモートコントローラのご利用方法については、AZ490：リモートコントローラのインストールアクションマニュアルをご参照ください。

2-2-1. 【Parameter Table 1 ウィンドウの設定】

Parameter Table 1 画面上で、ターゲットマイコンにあったパラメータ設定を行います。



①TVcc Threshold【FUNC D3】

ターゲットマイコンの動作電圧の下限値よりさらに10%程低い値を設定してください。
NET IMPRESSは、ターゲットマイコンの動作電圧（TVcc）を監視しており、この電圧がここで設定する電圧値以上の時に、デバイスファンクションを実行します。
NET IMPRESSでのTVccスレッシュホールドの設定は、NET IMPRESSのインストラクションマニュアル【5-4-5 TVccスレッシュホールド設定】をご参照ください。

②Flash ROM【First/Last Address】【FUNC D6】

マイコンに内蔵されているフラッシュメモリ領域（First/Last Address）を設定してください。
NET IMPRESSでのFlash ROMの設定はできずに、表示のみとなります。
NET IMPRESSインストラクションマニュアル【5-4-8 フラッシュメモリ領域表示】をご参照ください。

③ROM Block Configuration

フラッシュメモリのブロック構成を設定します。

< ブロック情報テーブル >

ブロック情報テーブルは、ブロックグループNo.、ブロックグループのスタートアドレス、ブロックサイズの3情報からなります。

ブロックグループNo.：Group1～Group14までの14Groupが指定できます。
連続したブロックサイズの等しい一群のブロックを一つのブロックグループとして、アドレスの若い方から、若い番号のブロック番号を付与します。

スタートアドレス：ブロックグループの開始アドレスです。
このアドレスからブロックサイズで定められた大きさのフラッシュメモリが連続して並び、一つのブロックグループを構成します。

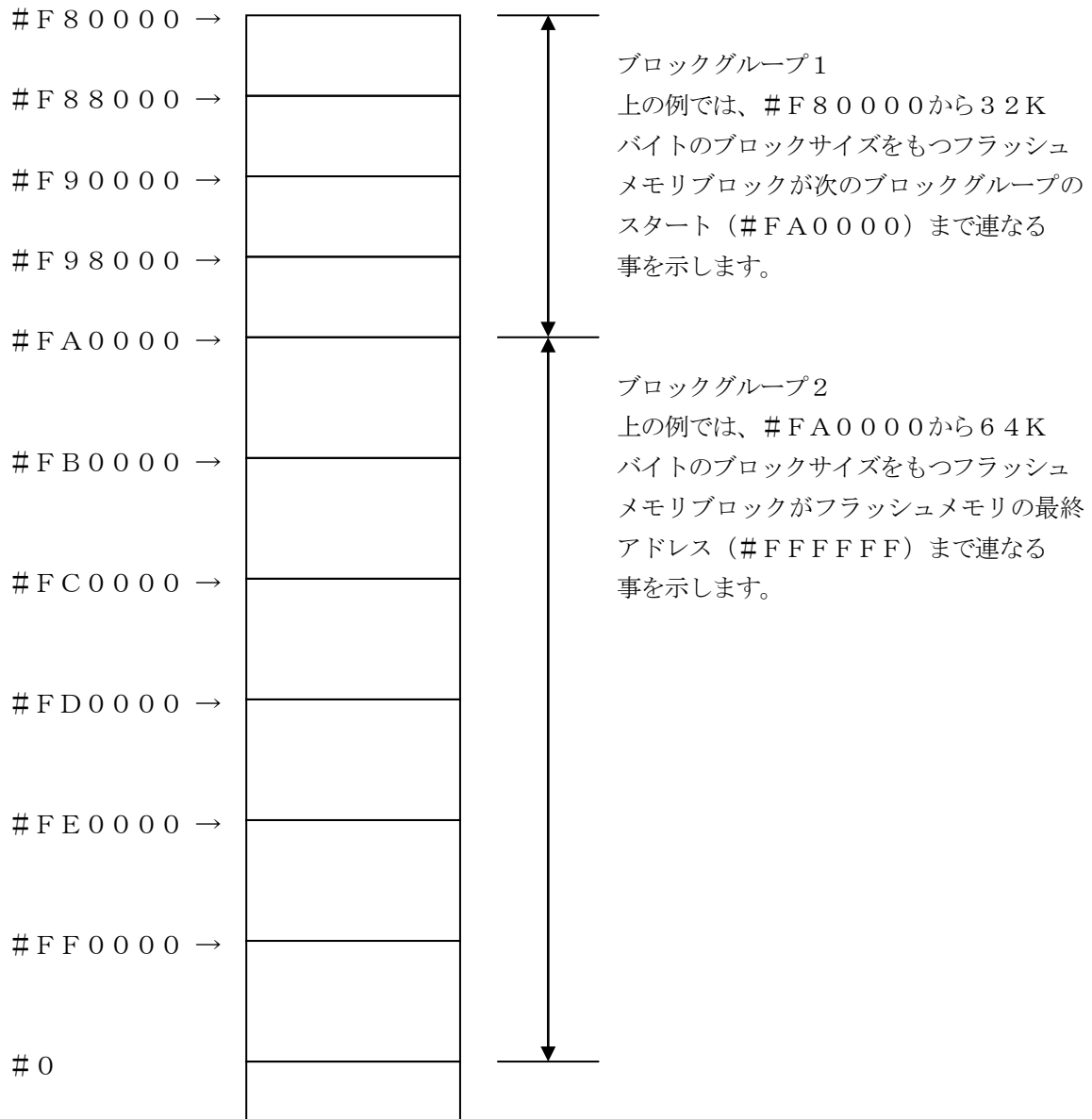
ブロックサイズ：NET IMPRESSは、次の（ブロック）グループアドレスまで、このブロックサイズで定められたフラッシュメモリブロックが連続して配置されるものと解釈されます。

最終ブロックは、ブロックスタートアドレス及びブロックサイズに“0”を記入します。

例)

| ブロックグループNo. | スタートアドレス | ブロックサイズ |
|-------------|-----------|-----------|
| 1 | #00F80000 | #00008000 |
| 2 | #00FA0000 | #00010000 |
| 3 | #00000000 | #00000000 |

スタートアドレス



④MCU Clock Frequency 【 FUNC D F 】

本コントロールモジュールでは、設定は不要です。

⑤MCU Operation Mode 【 FUNC D 4 】

コントロールモジュールでは、設定は不要です。

⑥WDT Clock Period 【 FUNC D 5 】

NET IMPRESS は、オンボードプログラミング中に定周期のクロックパルスを出力する機能を持っています。この周期を利用する場合はWDT周期の設定を行います。

定周期パルスは、3-1信号一覧表のWDT（15ピン端子）信号から出力されます。

NET IMPRESSでのWDT設定は、NET IMPRESSのインストラクションマニュアル【5-4-7 ウォッチドックタイマ設定】をご参照ください。

⑦Data Communication

NET IMPRESSとターゲットマイコン間の通信設定を指定します。

本コントロールモジュールでは、ウィンドウの各項目を次のように設定してください。

- ・通信路選択 【 FUNC D 1 】

本コントロールモジュールでは、設定は不要です。

- ・Channel No. 【 FUNC D 7 】

本コントロールモジュールでは、設定は不要です。

- ・UART Baud Rate 【 FUNC D 2 】

本コントロールモジュールでは、設定は不要です。

- ・CSI Baud Rate 【 FUNC D 9 】

JTAGインタフェースの通信速度を選択します。

NET IMPRESSでの通信速度設定は、NET IMPRESSのインストラクションマニュアル【5-4-4 CSI通信速度設定】をご参照ください。

⑧MCU Type 【 FUNC D 8 】

この項目へ設定された内容が、ウィンドウ左上部のMCU Type及びNET IMPRESS本体上に表示されます。

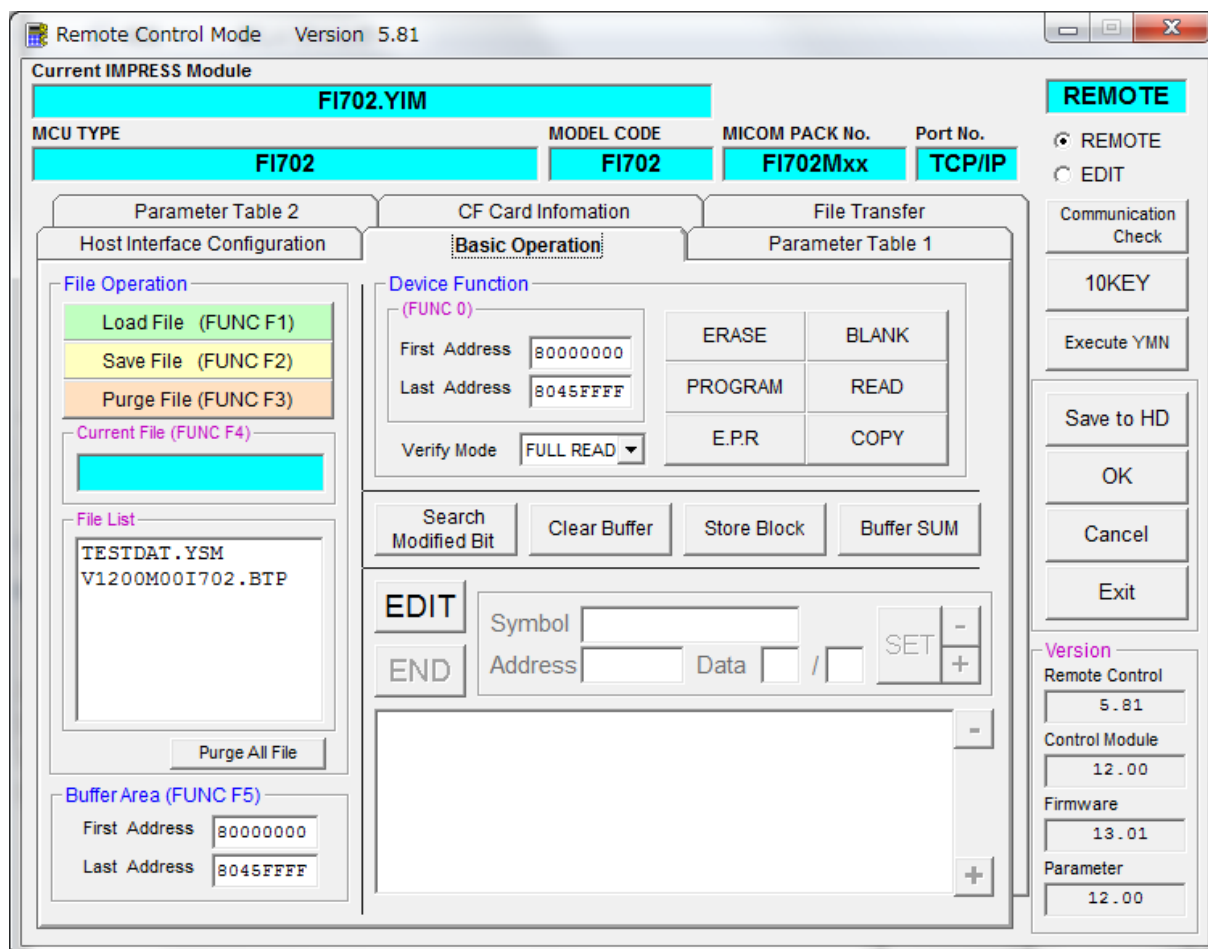
マイコンの型名、お客様の装置型名など任意の文字を16桁まで入力できます。

⑨OK

Parameter Table 1 ウィンドウ内容を、コントロールモジュールに転送するキーです。①～⑧の設定変更後は、ウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。OKキーが押されなければ、パラメータは反映されません。

2-2-2. 【 Basic Operationウィンドウの設定 】

Basic Operationウィンドウ上では、次の2項目の設定を行います。



①Device Function【FUNC 0】

マイコンへのデバイスファンクションの対象領域を設定します。

通常は、2-2-1. ②項のFlash ROM領域と同じ設定にします。

デバイスファンクションアドレス【FUNC 0】は、その設定アドレス値により、図2-2-2-1のようにフラッシュメモリのブロック境界アドレスに自動アライメントされます。この自動アライメントされた領域に対して、デバイスファンクションが実行されます。

②Buffer Area【FUNC F5】

NET IMPRESSのバッファメモリ上のデータをセーブ・ロード（バイナリファイルの場合）する領域を設定します。

通常は、2-2-1. ②項のFlash ROM領域と同じ設定にします。

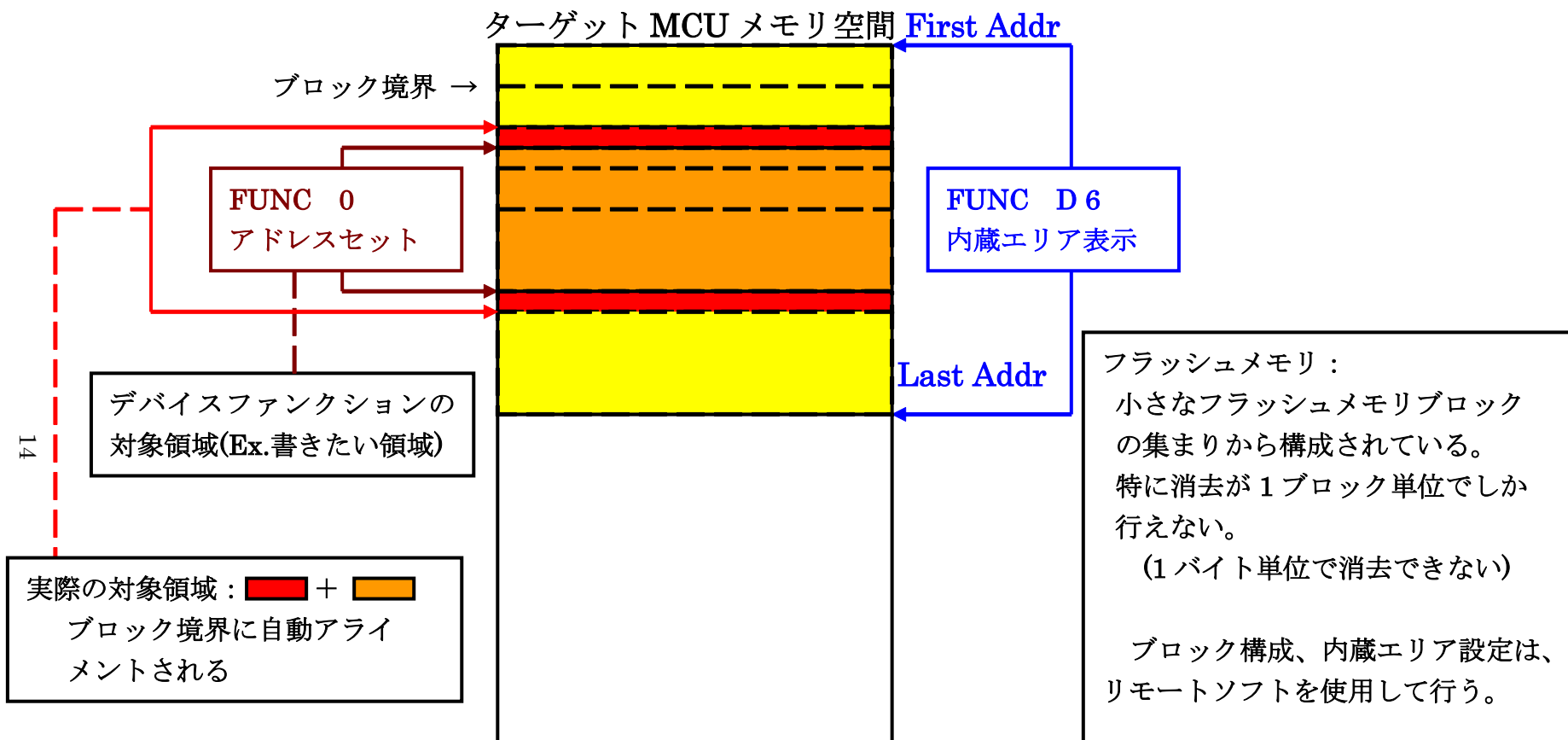
図2-2-2-2は、Device Function【FUNC 0】、Buffer Area【FUNC F5】、Flash ROM Area【FUNC D6】の関係を示しています。

③OK

ウィンドウ内容を、コントロールモジュールに転送するキーです。

①～②の設定変更後は、ウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。

OKキーが押されなければ、パラメータは反映されません。



FUNC 0 アドレスセットとアドレスアライメント

図 2-2-2-1

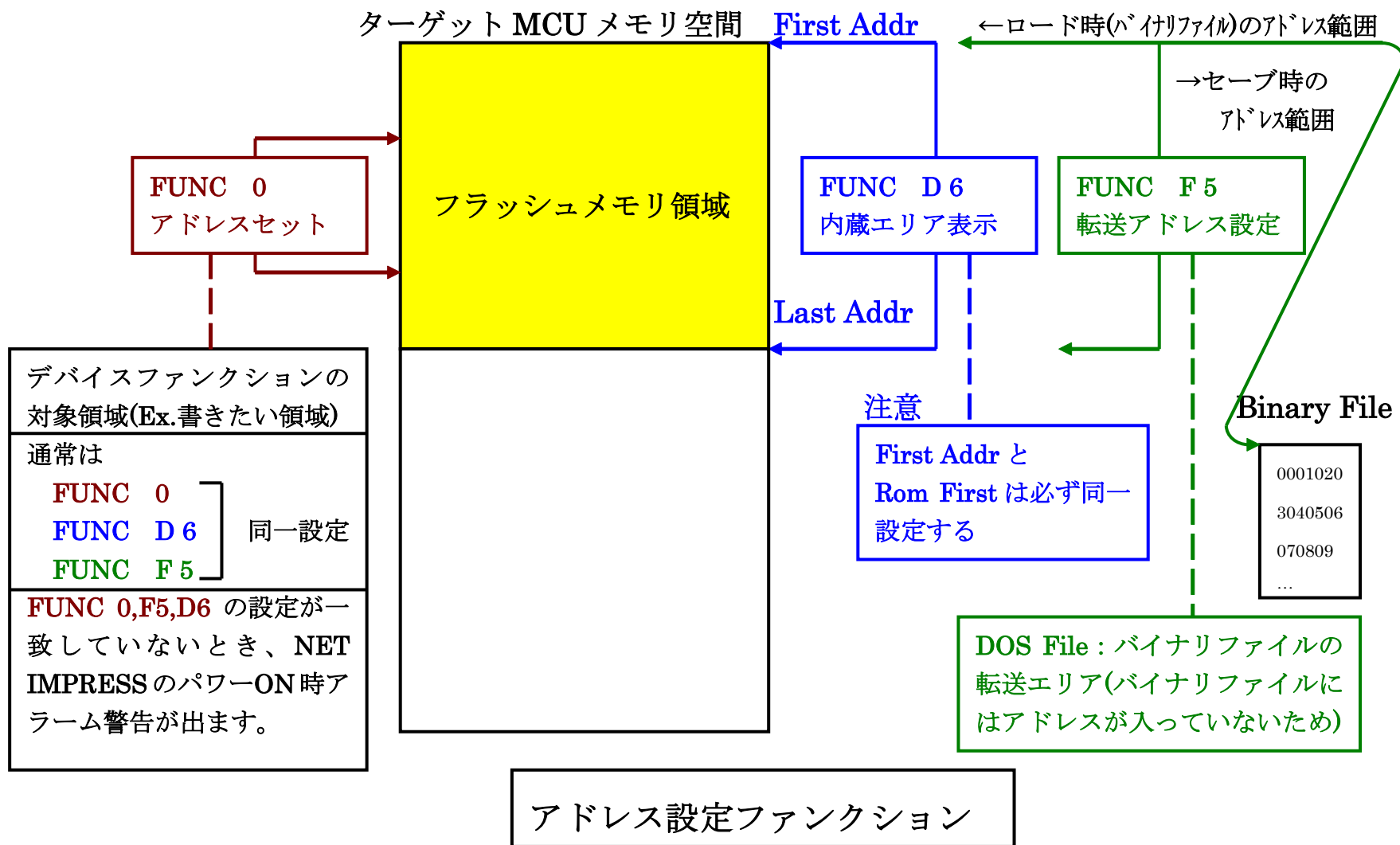


図 2-2-2-2

2-2-3. 【 Parameter Table 2 ウィンドウの設定 】

この設定ウィンドウには、マイコン固有パラメータが設定されていますので、変更しないでください。
 設定変更が必要な場合は、事前に必ず弊社サポートセンタまで、ご相談ください。

Remote Control Mode Version 5.81

Current IMPRESS Module: **FI702.YIM**

MCU TYPE: **FI702** MODEL CODE: **FI702** MICOM PACK No.: **FI702Mxx** Port No.: **TCP/IP**

Host Interface Configuration Basic Operation Parameter Table 1

Parameter Table 2 CF Card Information File Transfer

- Specific Parameter for this Control Module (FUNC 8X) -

| | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 0A | 0B | 0C | 0D | 0E | 0F | |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------------|
| 0C0: | 03 | 30 | 04 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 27 | 10 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | .0.....' |
| 0D0: | 40 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | @..... |
| 0E0: | 02 | C4 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 50 |P |
| 0F0: | 80 | 64 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | E0 | 00 | 70 | 10 | 00 | 00 | .d.....p... |
| 140: | 01 | 0F | 06 | 84 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | EF | FF | 00 | 00 | 00 | 00 | |
| 600: | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 80 | 00 | 00 | 00 | 00 | |
| 610: | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 40 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 |@..... |
| 620: | 80 | 00 | 00 | 00 | AF | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | |
| 630: | 00 | 40 | 00 | 00 | 00 | 06 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | .@..... |

- WARNING -
 These parameter should not be changed.
 Contact to YDC in details.

REMOTE
 REMOTE
 EDIT
 Communication Check
 10KEY
 Execute YMN
 Save to HD
 OK
 Cancel
 Exit

Version
 Remote Control: 5.81
 Control Module: 12.00
 Firmware: 13.01
 Parameter: 12.00

2-3. デバイスファンクションと実行機能

NET IMPRESSのデバイスファンクション起動時に実行される機能は以下のとおりです。

| デバイスファンクション | | ERASE | BLANK | PROGRAM | READ | E. P. R | COPY |
|------------------|-------------------------|--|---|--|--|--|--|
| 対象メモリ域 | 【FUNC 0】によるフラッシュメモリ一部領域 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【FUNC D6】によるフラッシュメモリ全領域 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| フラッシュメモリに対する実行動作 | | <input checked="" type="checkbox"/> Erase <input checked="" type="checkbox"/> Blank | <input checked="" type="checkbox"/> Blank | <input type="checkbox"/> Erase <input type="checkbox"/> Blank <input checked="" type="checkbox"/> Program <input checked="" type="checkbox"/> Read *1 | <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> Read | <input checked="" type="checkbox"/> Erase <input checked="" type="checkbox"/> Blank <input checked="" type="checkbox"/> Program <input checked="" type="checkbox"/> Read *1 | <input checked="" type="checkbox"/> Copy <input checked="" type="checkbox"/> Read |
| 備考 | | 各デバイスファンクションは、ブロックグループ単位で実行されます。 | | | | | |

*1 : 【FUNC 99】の設定値により指定されたベリファイモードでベリファイを実行します。

3. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ

3-1. 信号一覧表

本コントロールモジュールをご利用いただいた場合のターゲットプローブコネクタ端の信号表を示します。

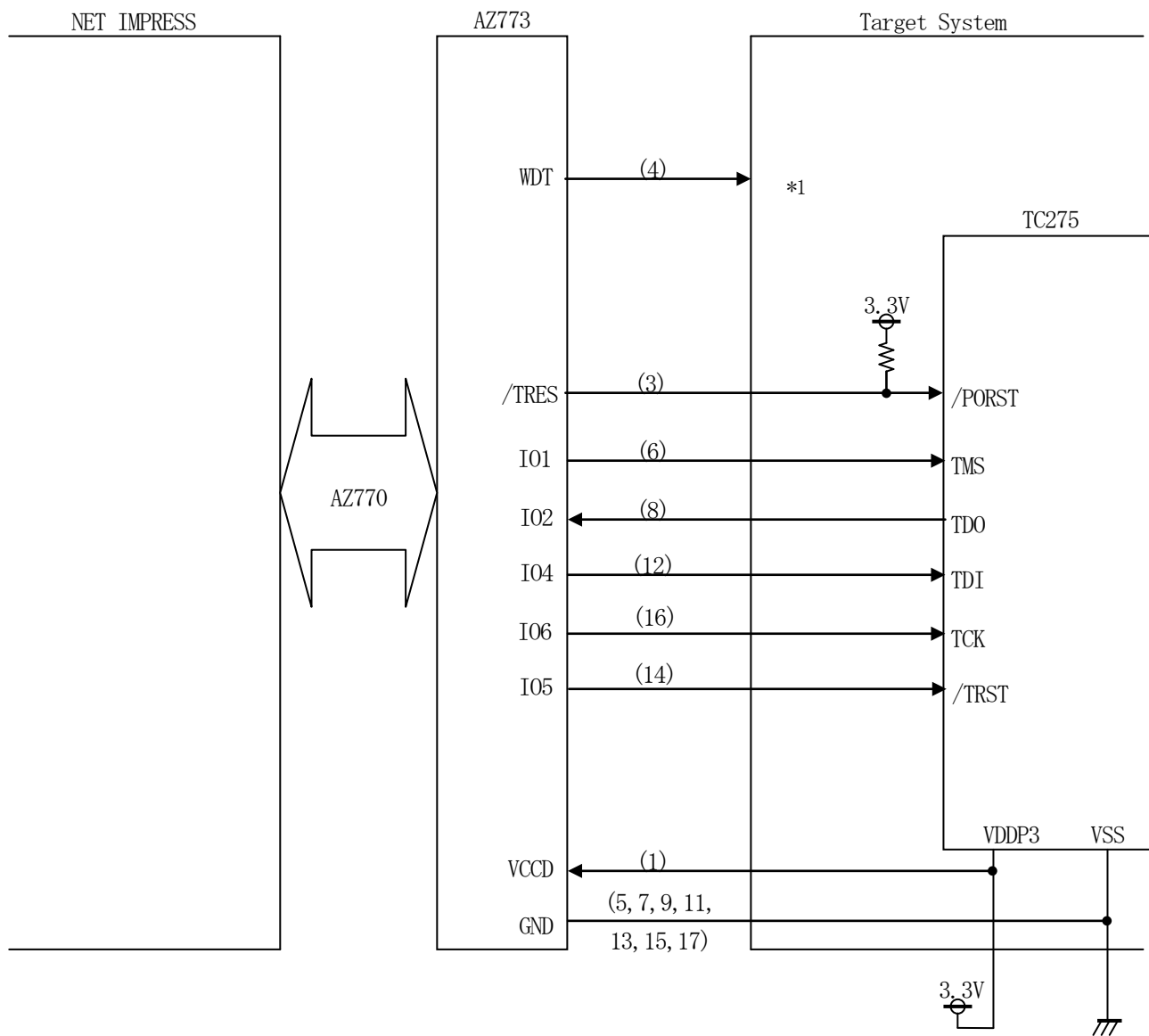
| MCU Signal | Standard Signal Name | | | | MCU Signal |
|------------|----------------------|----|-----|------|------------|
| VDDP3 | VCCD | ① | 2 | VCCS | |
| /PORST | /TRES | ③ | (4) | WDT | |
| VSS | GND | ⑤ | ⑥ | I01 | TMS |
| VSS | GND | ⑦ | ⑧ | I02 | TDO |
| VSS | GND | ⑨ | 10 | I03 | |
| VSS | GND | ⑪ | ⑫ | I04 | TDI |
| VSS | GND | ⑬ | ⑭ | I05 | /TRST |
| VSS | GND | ⑮ | ⑯ | I06 | TCK |
| VSS | GND | ⑰ | 18 | I07 | |
| | I08 | 19 | 20 | I09 | |
| | I010 | 21 | 22 | I011 | |
| | I012 | 23 | 24 | I013 | |
| | I014 | 25 | 26 | I015 | |
| | I016 | 27 | 28 | NC | |
| | NC | 29 | 30 | NC | |

○ は、必ず接続していただく信号線です。

() の信号線は、必要に応じてご利用ください。

○も()も印がついていない信号ピンには、絶対にターゲットシステムの回路を接続しないで下さい。

3-2. 代表的な接続例

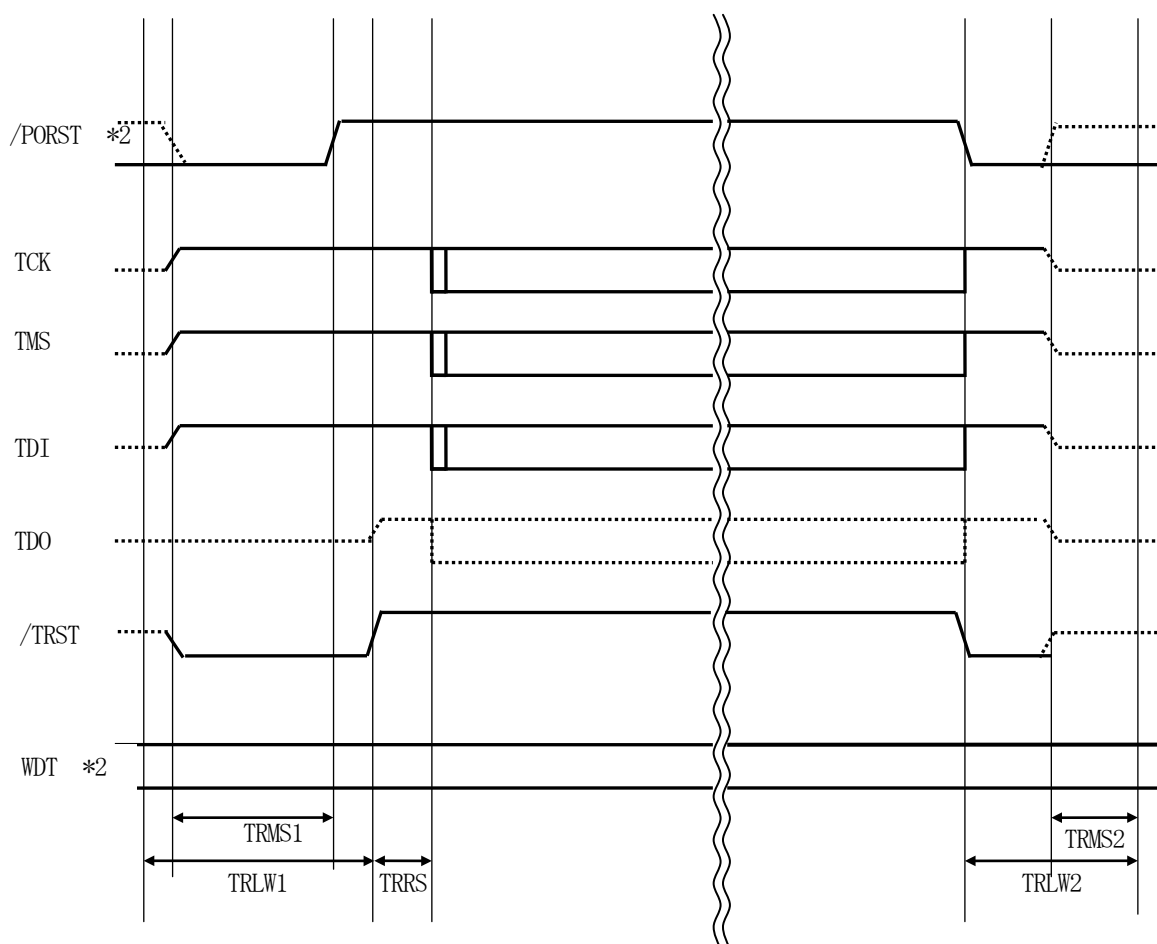


ターゲットシステムとの接続例

*1 : オプション機能です。

- ① “書き込みモード” など一部の書き込み信号がユーザシステムとの共用端子に定義されている場合には、それらの信号のマルチプレクス回路をユーザシステムに実装してください。
書き込み制御に使われるこれらの信号が、フラッシュマイコンから制御用専用信号線として定義されるターゲットシステムでは、マルチプレクス回路は不要です。
- ② WDT信号端子には、**[FUNC] [D] [5]** で定義されているクロック信号がNET IMPRESS Sから出力されます。
(常時出力：オープンコレクタ出力) フラッシュメモリへの書き込み中に、所定のクロック信号が必要なユーザ回路へ接続してご利用下さい。
- ③ NET IMPRESSは、 /TRES 信号を設けてあります。
 /TRES 信号は、ターゲットシステム内でワイヤードオアをとり、マイコンの /RESET 端子に接続していただけるよう、オープンコレクタ出力の信号としています。

3-3. 制御信号波形



| | MCU Specificatin | IMPRESS Spesification |
|-------|------------------|-----------------------|
| TRLW1 | | 300 ms (Min) |
| TRLW2 | | 100 ms (Min) |
| TRMS1 | | 200 ms (Min) |
| TRMS2 | | 50 ms (Min) |
| TRRS | | 100 us (Min) |

* 1 : " ————— " は、HiZを示します。

* 2 : /TRES と WDT はオープンコレクタ出力です。

- ①フラッシュプログラムの電源投入後、ターゲットシステムの電源を入れてください。
フラッシュプログラムは、電源投入直後からリセット信号をアサートし、WDT出力を開始します。

- ②プログラミングモードが起動され、規定の通信回線を使ってNET IMPRESSとの通信を
始めます。通信は、あらかじめ設定されている通信条件で行います。

- ③プログラミング終了後も、WDT信号（出力）から周期的なパルスが出力されつづけます。
また、リセット信号はデバイスファンクション非実行中、常にアサートされます。

3-4. プローブ

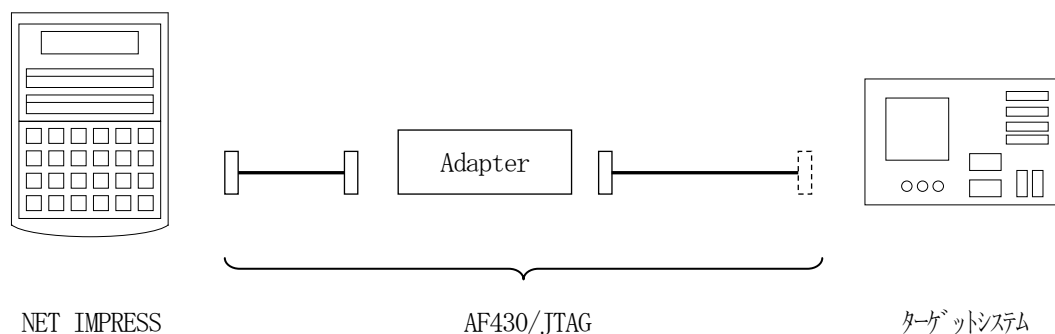
F I 7 0 2を使ってプログラミングを行うためには、J T A G信号への変換アダプタを使用します。

<NET IMPRESS ↔ J T A G信号変換アダプタ>

A F 4 3 0 / J T A Gは、NET IMPRESSの標準入出力信号をJ T A G信号に変換するアダプタを使用します。

このアダプタにより、J T A Gプロトコルを用いたフラッシュROMプログラミングが可能なマイコンをサポートします。

下図にA F 4 3 0 / J T A Gの構成概要を示します。



ユーザターゲット側末端は、コネクタが付いていません。お客様のターゲットシステムにあわせて、コネクタを付けて頂く必要があります。

4. 代表マイコン以外への適用

ー パラメータテーブルの変更方法 ー

4-1. パラメータ変更 (NET IMPRESS のキーボードを使って)

NET IMPRESS インストラクションマニュアル【 5-4. パラメータ設定 】に示すファンクションコマンドで規定されるパラメータ (ファンクションD1~DF) については、NET IMPRESS のキーボード上で変更できます。

ターゲットシステムとの通信インタフェースやご利用になるターゲットシステムの電源電圧などがこの範囲に入ります。

< ご注意 >

マイコン内に内蔵されるフラッシュメモリブロック構成など、設定事項が多岐にわたる対象マイコン自体の変更は、NET IMPRESS のキーボードからは行えません。

(別売りのリモートコントローラ：AZ490をご利用ください。)

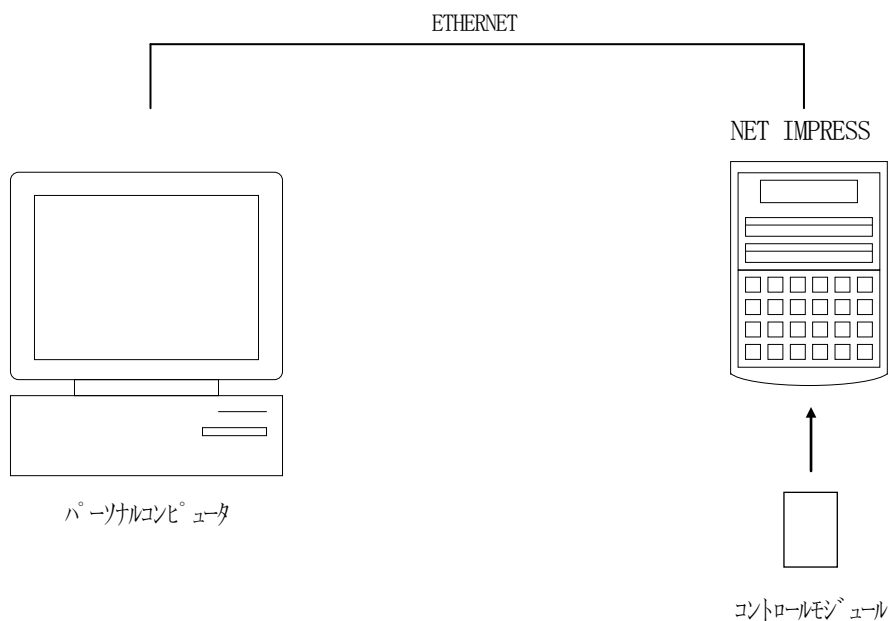
4-2. 対象マイコンの変更 (別売りのリモートコントローラを使って)

弊社では、PCからNET IMPRESS をリモート制御するためのリモートコントローラ (AZ490) を別売りしております。このリモートコントローラでは、NET IMPRESS のリモートコントロール機能のほかに、パラメータテーブルの設定、確認ができます。

リモートコントローラでは、パラメータテーブルを個々に設定する事ができ、変更可能なパラメータ設定対象は、以下のパラメータが含まれます。

- | | |
|-------------------|--|
| ①Device Type : | 対象デバイス名称が設定できます NET IMPRESS LCD上に表示される名称を変更できます |
| ②Flash Rom Area : | 当該マイコンのフラッシュメモリ領域が設定できます |
| ③Rom Block : | フラッシュメモリのブロック構成をRom Group毎にスタートアドレスとサイズを設定する事ができます これにより、同一プロトコル・アルゴリズムを持つ代表マイコン以外のマイコンに対する対応が可能となります |
| ④MCU Clock : | ターゲットマイコン動作クロック周波数の設定ができます |
| ⑤通信インタフェース : | ターゲットシステムとの通信インタフェースの設定ができます |
| ⑥その他 : | その他のマイコンの固有設定情報を変更する事ができます |

4-3. リモートコントローラによるパラメータの変更方法



パーソナルコンピュータ (IBM-PC) と NET IMPRESS を ETHERNET ケーブル (10BASE-T) で接続します。

NET IMPRESS には、ターゲットマイコン用のコントロールモジュールを実装しておきます。パーソナルコンピュータ (Windows 環境) 上で、リモートコントローラを動作させることで、NET IMPRESS に実装されたコントロールモジュールのパラメータテーブルを変更/確認することができます。

リモートコントローラ (AZ490) では、パラメータの一括ロード/セーブが行えます。一括してセーブすることができますので、同系列の各種デリバティブマイコンへのパラメータテーブル変更を容易に行うことができます。

また、この機能を使い、弊社ホームページよりダウンロードしたマイコンパックをコントロールモジュールにロードすることが容易に行えます。

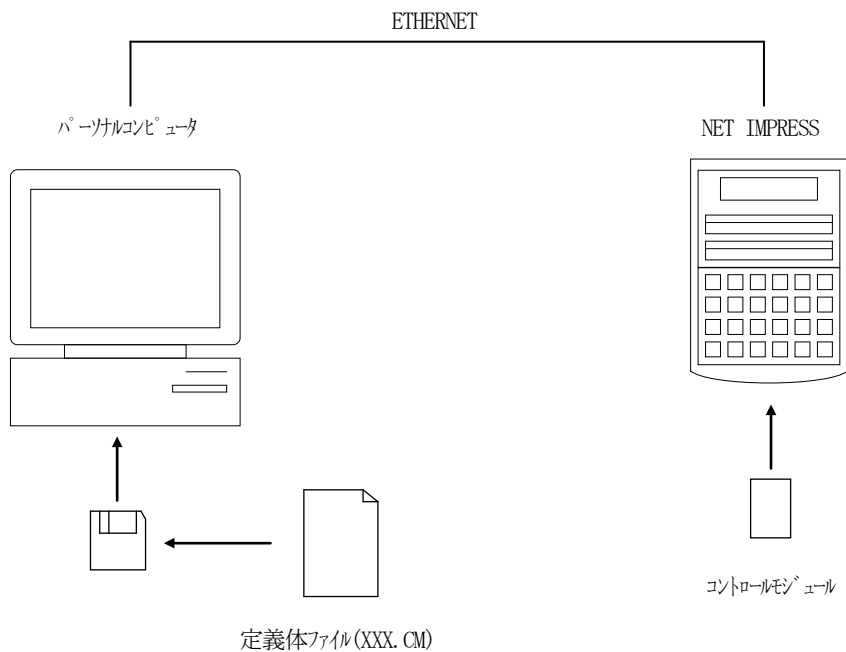
5. 定義体交換機能

5-1. 定義体交換機能概要

コンパクトモジュールの機能として異系列の書き込み仕様をもつマイコンに対しても、コントロールモジュールの交換なしに、リモートコントローラ（AZ490）の定義体のダウンロード機能を使用して、スピーディな段取り換えを行うことができます。

この定義体交換機能は、コンパクトモジュールに定義体ライセンスを付加することにより、他の書き込み仕様をもつマイコンに対応するコンパクトモジュールに交換することができます。

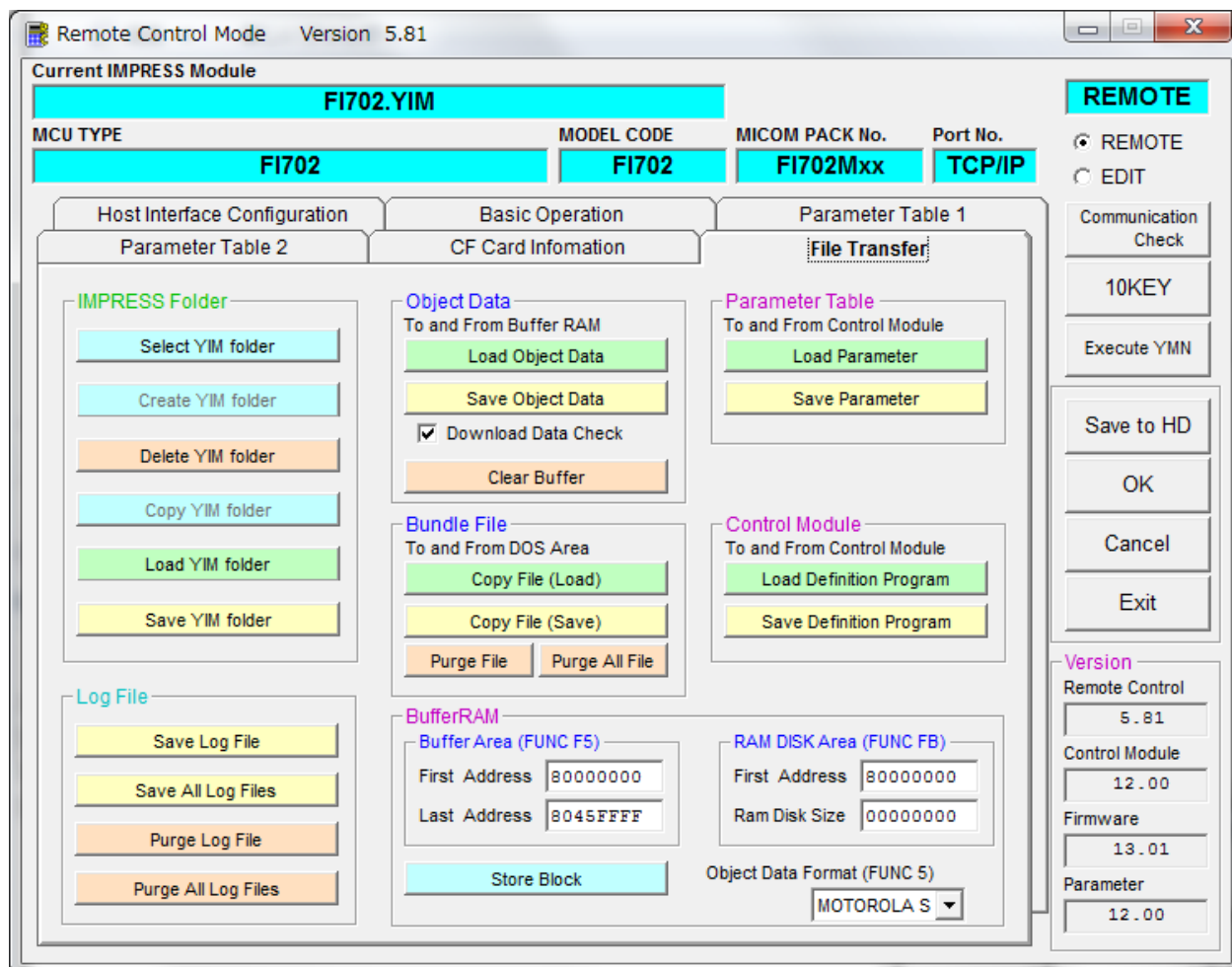
定義体ライセンスは、弊社で販売しております。ご不明な点がございましたら、弊社または、代理店にお問い合わせください。



5-2. 定義体交換方法

定義体ライセンスが付加された、コンパクトモジュールをNET IMPRESSに実装された状態にして、リモートコントローラ（AZ490）の定義体ダウンロード機能（File Transfer画面の、Load Definition Program機能）により、コントロールモジュールの定義体交換を行います。（NET IMPRESS単体では、この機能はご利用できません）

定義体ライセンスをご購入時に、弊社より提供されたメディアの中にある定義体ファイル（xxx.cm）をこの機能により、ダウンロードすることとなります。



6. F I 7 0 2 固有のエラーメッセージ

6-1. 概要

本コントロールモジュールでは、デバイスファンクション実行時の異常終了時に、特定のエラーメッセージを出力します。

本章に記載されている以外のエラーメッセージについてはNET IMPRESSのインストラクションマニュアルをご参照ください。

6-2. エラーメッセージ一覧

| エラーメッセージ | エラー要因/対策 | |
|----------------------------------|----------|--|
| 1121 DEVICE CONNECTION FAILED | 要因 | ターゲットとの接続に失敗しました。 |
| | 対策 | 正しく接続されているかご確認ください。 |
| 113A ADAPTER INITIALIZE ERROR | 要因 | AZ773 の初期化に失敗しました。 |
| | 対策 | プローブ (AZ770) アダプタ (AZ773) が正しく接続されているかご確認ください。 |
| 113B JTAG ADAPTER ID ERROR | 要因 | AZ773 ではない別のアダプタが接続されています。 |
| | 対策 | アダプタ (AZ773) が正しく接続されているかご確認ください。 |
| 113C JTAG ADAPTER ERROR | 要因 | AZ773 との通信に失敗しました。 |
| | 対策 | プローブ (AZ770) アダプタ (AZ773) が正しく接続されているかご確認ください。 |
| 1134 ADAPTER NOT SUPPORTED | 要因 | アダプタ (AZ773) が非対応のバージョンです。 |
| | 対策 | — |

7. ご利用上の注意

- ①本コントロールモジュールは、弊社フラッシュマイコンプログラマ専用のコントロールモジュールです。弊社、フラッシュマイコンプログラマ以外ではご使用にならないでください。
- ②本コントロールモジュールは指定されたフラッシュマイコン専用のものです。
他のマイコンへの書き込みには、書き込みを行うマイコン専用のコントロールモジュールをご利用ください。マイコンとコントロールモジュールとの対応を誤って使用すると、ターゲットシステムを破壊する恐れがあります。
- ③NET IMPRESSは、ターゲットシステムとのインタフェイスIC（NET IMPRESS内部IC）電源用に数mAの電流をTV c c d端子より消費いたします。
- ④コントロールモジュール（コンパクトフラッシュカード）は、絶対にイニシャライズ（フォーマット）しないでください。イニシャライズされると、コントロールモジュール内の定義体（コントロールプログラム）も消去されてしまいます。
- ⑤デバイスファンクション又は、ファンクション実行中には、コントロールモジュールの脱着は、行わないでください。
コントロールモジュールアクセス中に、脱着してしまいますとコントロールモジュールを破壊する恐れがあります。
- ⑥フラッシュマイコンプログラマは、コントロールモジュールを実装した状態で動作します。